

(計画)・中間・最終)

白岳中学校区 校番 3 呉市立白岳中学校

a 学校教育目標	夢や目標に向かって粘り強く頑張る生徒を育てる ー夢や目標への自律的挑戦ー	b 経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉(学校の使命) 知・徳・体の調和がとれ、主体的に生きる力を備えた児童・生徒を育成することで地域社会に貢献する。 〈ビジョン〉(将来の学校像) 保護者や地域、学校が連携し、児童・生徒が夢や目標に向かって安全に安心して生活し、自律して学ぶことのできる学校を目指す。								
c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	現状:夢や目標の達成のための基盤となる「15歳の生徒に身につけさせたい力」としては、必要な学力や体力は概ね身につけているが、傾向としては二極化している。「自己を認識する力」が十分に身につけていないため、「自分の人生を設計・選択する力」まで行き着いていない。また、他者に伝えるための力「表現力」にも、課題がある。若干ではあるが、規範意識が十分に育っていない生徒がいる。 重点: 1 「学び合い」を大切に「課題発見・解決」型の授業づくりを進め、主体的に学び、考えを深め合うことで、学力の向上を図る。 2 健やかな生活のなかで、規範意識を身につけ、問題の解決に向けて実践できる生徒の育成を図る。 3 業務改善を推進し、教職員が生徒と向き合い、自らの意欲と能力を発揮できる環境を整備する。										
育成を目指す資質・能力 知識・技能 思考力・判断力・表現力 学びに向かう力・人間性											
評価計画(中期経営目標を設定してから①・2・3年目)											
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	自己評価					
						上半期		下半期			
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
*** 確かな学力	基礎的・基本的な知識・技能を習得させ思考力・判断力・表現力の育成を図る。	① 生徒が主体的に学ぶ授業づくりを行う。 ② 学習観をレベルアップさせ、自律した学習者を育てる。(学習環境づくり) ③ 自分の夢や目標を他者に伝える表現力を育成する。	互いの考えを深め合う場面で効果的に取り入れることで、「学び合い」を大切に授業づくりを進める。 ICT機器を活用した、全員参加型の授業を全教科で行う。 学習観レベルアップ講座を通して、学び方を改善させ、予習・復習を充実させる指導を行う。 単元構想シートを活用して、総合的な学習の時間の授業改善を行う。 『ドリームマップの作成』『職場体験学習』『進路学習』で、自分の夢を語る場を設定する。	ペア・グループ活動等で、他者とのかわり合いを通して理解を深めることができたと答える生徒の割合 タブレットを活用して自分の意見を発表できたと答える生徒の割合 「学び方5」を意識して、学習に取り組んでいる生徒の割合 JCノートの提出率 「本質的な問い」を意識して総合的な学習の時間に取り組んでいると答える生徒の割合 自分の夢や目標を語る事ができると答える生徒の割合	80 80 70 90 70 70						
** 豊かな心	規範意識を身につけ、認める・ほめる指導により、自尊心を高める。	ルールやマナーなど規範意識を身につける指導の徹底を図る。 キャリア教育を充実させ、明確な夢や目標を持つ生徒を育成する。	学習規律、生徒指導規程等のルールを周知し、守らせる。 生徒会主体の無言清掃を促進する。 自らの意見と他者の意見を比較し、その中で考えを深め、自己決定できる指導を行う。	ルールやマナーを守っている生徒の割合 自分なりに考えて掃除ができた生徒の割合 夢や目標に向かって努力している生徒の割合 自分の良さは周りの人から認められていると答える生徒の割合 部活動に満足している生徒の割合 体育大会、文化活動発表会に満足している生徒の割合	92 80 80 70 80 85						
* 業務改善	① 基本的な生活習慣と体力の向上を図る。 ② 自らの意欲と能力を発揮できる環境の整備	① 早寝・早起き・朝ご飯」の定着を図る。 ② 体力の向上を図る。 ③ 防災教育の充実を図る。 ④ 児童生徒と向き合う時間の確保 ⑤ 長時間勤務の削減	生活習慣チェックカードを活用して小、食生活や生活リズムの改善を図る。 保体の授業の補強運動を充実させる。小中で連携して重点種目に取り組む。 避難訓練を実施し、避難時に適切に判断し行動できる指導を行う。 会議時間の短縮、分掌における業務削減を図る。 週1回の定時退校の徹底し、部活動休養日の定着させる。	バランスのよい朝食を食べる生徒の割合 体力テストで県平均を超える種目数 避難訓練時に必要な行動ができる生徒の割合 生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合 時間外勤務が月45時間以下である教職員の割合	80 65 80 85 100						

【k:評価】
A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100
C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60